

## 都 退 教 協 だ よ り

No.308号

2022年8月17日発行

東京都退職教職員協議会 会長 谷口 滋

〒101-0003 千代田区一ツ橋 2-6-2 日本教育会館 2F 東京教組内

☎:03-5276-1311 FAX:03-5276-1312 Mail:totaikyokyo@tokyokyouso.org

## 戦争はイヤ！教え子を再び戦場に送らない 決意を確認した都退教協総会

7月6日(水)、東京教組会議室で第48回都退教協定期総会が行われました。

1,000人台まで減った東京都のコロナ感染者がじわじわと増え、総会の日には8,341人でしたが、7月末には4万人を超えてしまいました。コロナ禍もあり、総会参加者は少数でしたが活発な討論ができました。

議長は、南部教組でも活動している森谷憲光さんが務めました。冒頭、谷口会長は立川市議選で東京教組組織内候補の原ゆきさんが見事に4位上位当選を果たしたこと、この勢いで10日の参議院選で古賀ちかげさんを当選させようと訴え、「核共有、軍事費倍増、改憲」などの危険な動きに対して「いやなこといやで通して老いの春」(高安風生の句)でたたかいましょうとあいさつ。

来賓の竹田日退協会長は、参議院選挙で全国の退職者組織を回ってきた、厳しい情勢だがSNSなども屈指してがんばりましょう。個人情報と国家管理と漏洩の危険があるマイナンバーカードを保険証にするものの危険を訴えました。

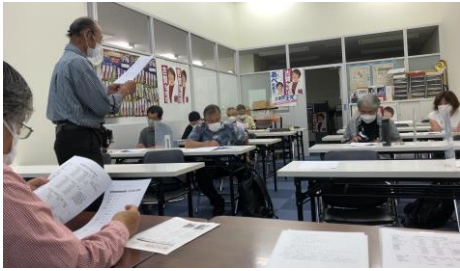
その後、名谷常任委員から寄せられたメッセージの紹介がありました。

※メッセージは、この後に掲載していません。



川角事務局長の経過報告、安藤会計の決算報告、長谷川会計監査の会計監査報告、今年度の活動方針について質疑討論が行われました。参議院選挙で会員の皆さんに役員が電話かけをしたことや、愛知にいる弟に古賀ちかげさんとともに斉藤嘉隆さんの支援をお願いしたことなど報告されました。長谷川和男さんからは、朝鮮高校・幼稚園の無償化の取り組みが報告され子どもたちの命と健康については公的助成がぜひ必要と訴えました。大田区の第六朝鮮初級学校での保護者との連携や、労働安全委員会で教職員のタダ働きの問題を取り上げたことなども報告されました。会計年度職員として働いている藤崎さんからは、職員会議も朝の打ち合わせもなく年度末反省もない、校長の判断で学校運営がされている現場の実態が報告されました。私たちは、職員会議で育った世代、現役の皆さんともつ

と話し合いたい。教員が主体性を持たなければ子どもの主体性は育たない。名谷さんからは、ますます普通学級が大変で「障害」のある子が地域の学校に入れない、いづらくなっている。インクルーシブ教育が遅れている日本の現状



を報告するため、国連の人権委員会が開かれるジュネーブに8月に行ってきます。土井さんからは、教育用品の展示会は学校のIT化が進む中、ほとんどデジタル製品になり、Googleなどが子どものビッグデータを集積させている実態も報告されました。人事考課制度で教員同士の交流がなくなされた、教職員組合運動の原点に戻って運動すべき！

など多くの報告、意見がありました。

## 総 会 宣 言

安倍、菅政権を引き継ぐ岸田政権は「新しい資本主義」を標榜しつつ、物価高騰に何ら有効な政策を打てずにいます。加えてロシアのウクライナ侵略に乗じて日本の核共有、軍事費増大、敵基地攻撃能力を主張する安倍晋三元首相、日本維新の会などと同調し、緊急事態条項などの憲法改悪にも意欲を見せています。

しかし、この戦争は西側諸国によるウクライナへの武器の供与を始めとする対ロシア政策が世界の平和を希求する方向とも明らかに違う方向を示しています。どの戦争でも労働者が最も犠牲になっています。最前線で殺しあわされている兵士も軍服を脱げば労働者です。ウクライナの民は住む家を破壊され、家族を殺害され平穏な生活を破壊され、生き残った者は難民として生きて行かざるを得ない状況です。今すぐ軍事行動を停止させ、平和を取り戻すことが重要です。

ウクライナの戦争に端を発して、穀物の世界的な値上がりを始め、物価の高騰が我が国でも起きています。物価が上がっているのに

年金はさがり、私達高齢者の生活はますます苦しさを増しています。消費税凍結、累進課税率強化等の政策で生活改善を目指しましょう。

エネルギー政策でも原発推進の旗を降ろさず、再稼働し、老朽原発や柏崎原発や六ヶ所再処理施設まで動かそうとしています。福島第一原発でたまりにたまった汚染水を薄めれば安全だとし海洋放出まで目論んでいます。このような愚かな原発推進政策を批判し撤回を求めていくことが何より重要です。

私達は本日ここに集い、真摯な討論を重ねて運動方針を確立しました。当面する政治課題は来週に迫った参議院選挙で日政連の古賀ちかげ候補の当選を始め、改憲阻止の勢力の拡大のため最後の最後まで奮闘することです。組織確立を実現し、高齢者が安心して暮らせる社会保障制度の改善要求や脱原発の闘いに全力で取り組むことを宣言します。

2022年7月6日

東京都退職教職員協議会

第48回定期総会

# 総会に寄せられたメッセージ

## 東京都退職者協議会

### 会長 山岸 皓

東京都退職教職員協議会第48回定期総会の開催おめでとうございます。

既に2年半におよぶコロナ禍は、退職者会にとって細心の注意をもって活動をせざるをえず、どちらの退職者会においても活動は制約を受け、厳しい運営を迫られたのではないかと思います。高齢者を取り巻く状況は、物価高騰や年金削減など生活を直撃しています。最近、コロナウィルスの感染は少し収まってきたようですが、引続き警戒を怠ること無く健康に留意して活動を進めてまいりましょう。

今、ウクライナへのロシアの侵攻は、一見平和に見えていた世界を、瞬く間に冷戦時代に戻ったかのような緊張に落とし込みました。連日の報道によれば、戦場となったウクライナの街は瓦礫と化し、多くの死者と数百万の避難民が生み出されています。そして、ここでも、子供・女性・高齢者・障がい者など弱いものたちが犠牲になっています。戦争に勝利者はいません。破壊と殺戮は怨み以外何も産み出しません。戦争を直ちにやめるべきです。まず、ロシア軍の即時撤退を求めるべきだと思います。

私たちは、情報戦の凄まじさを見せつけられています。ウソと真実が入り乱れて流されています。真実を見極めることは難しいと思いますが、何よりも戦争を終結し平和を取り戻すことを第一に考えることが大事だと考えます。

注意しておかなければならないのは、このような危機に便乗して、国内で動き始めた火事場泥棒のような勢力です。軍備増強・緊急事態条項・憲法改正を主張し、さらに、「核共有」、非核三原則の破棄までの言い出していることです。

平和と民主主義は、危ういものだと言うこと

を見せつけました。不断のたたかいが求められています。このような状況で7月の参議院選挙は、負けられない闘いです。改憲発議をさせない議席を確保し、平和と民主主義を護りましょう。そのためにも全国の仲間と連帯し、参議院選挙に勝利しましょう。

今総会の成功と貴退職者会のますますの発展を祈念してメッセージといたします。

## 東京高齢・退職者団体連合

### 会長 遠藤 幸男

貴会の第48回定期総会の開会おめでとうございます。日頃、東京高退連の諸活動に対して、ご支援、ご協力に感謝申し上げます。

コロナ禍で活動の制約を受けておりますが、私たちを取り巻く情勢は、生活必需品の高騰、年金の削減、医療費の自己負担の増などで、高齢者の生活は一層苦しくなっておりますが、自民党は、ロシアのウクライナへの侵略戦争を利用して、敵基地攻撃能力、核兵器の共有使用、軍事費のGDPの2%以上など政策を推し進め、最終的には、憲法9条を含む改悪を目指しています。

参議院選挙は、投票日まであと数日ですが、改憲勢力に3分の2を与えないために、共に頑張りましょう。

## 都庁退連合

### 事務局長 関口広行

東京都退職教職員協議会第48回総会おめでとうございます。東京都退職者協議会（都退協）の仲間として、心から開催を祝します。

都庁退連合は昨年11月に対面で総会を開催し、その頃から活動を再開させました。3月にはウクライナ集会、4月にはメーデー等に参加し、6月には学習会を開催しました。7月には「館山戦争遺跡見学と房総の幸」と題

するバスハイクを実施いたします。

一方、都庁の後輩からは、「職場では、日常的にテレワークが行われ、業務のデジタル化が急速に進められています。今後、ウィズコロナを模索していく中で、私たちの生活にも大きな変化が生じることと思います。」との情報も寄せられております。

さて、本年2月、ロシアのプーチンは、独立国であるウクライナの一部地域を一方向的に独立国と承認し、侵略を開始しました。多くのウクライナ人を殺し、国内外に多数の難民を出しています。既に4か月になりましたが、停戦の兆しは感じられません。アメリカやNATOが東に勢力を拡大したのが悪いとの意見あるのも承知していますが、そうですかとは言えないと考えます。最近の情勢は、ウクライナはEUやNATO加盟の方向となり、プーチンの戦略は失敗したと考えます。この戦争の早期の停戦を望みます。

総会ご参加の皆さんにお願いがございます。6月22日に参院選挙が公示され、7月10日が投開票日です。是非選挙に行って、富める者を擁護し、自衛隊の予算を倍増させ、憲法を改悪しようとしている岸田内閣に鉄槌を加えてください。同時に比例区からは、元自治労書記長の鬼木まこと候補が立候補しています。鬼子候補は、社会保障の充実、公助を軸とした社会の実現等を主張しています。労働者の味方で、我々の代表に相応しい候補と考えます。是非鬼子候補に投票をお願いいたします。

なお、都庁退連合の小林会長は6月に体調を崩し、現在入院中です。私とは何度も電話しておりますが、会話や歩行に支障はないと伺っており、7月10日頃退院の予定ですので申し添えます。

## 都高教退職者会

### 会長 本村富美子

東京都退職教職員協議会の皆さまには、地

域で教育や憲法、そして選挙活動などにとりくまれていることに、心から敬意を表します。

この2月ロシアがウクライナへ軍事侵攻しました。ひとたび武力が行使されれば、際限なく人間を殺し、生活・環境を破壊しつくすという戦争の現実を私たちは目の当たりにしました。

またコロナ禍が日常となったこの2年余は女性の多い宿泊・飲食業の苦境が続き、非正規への雇止め、シフト減らしなどが横行し「女性不況」と言われています。今国会に成立した「困難な女性支援法」が困窮する女性やDV・虐待や性搾取を受け、行き場のない女性たちを支援するものになっていくのか今後注視していく必要があります。

今年は沖縄が米軍統治下から「復帰」して50年になります。しかし基地の米兵による犯罪や事故は後を絶たず、沖縄では憲法の「基本的人権」や「生存権」が保障されないまま

「戦後」とは言えない状況が続いています。日米が台湾有事を想定し、施設の共同使用を進めています。中台両国の有事が起これば基地の集中する沖縄が標的にされ、戦争に巻き込まれます。沖縄を二度と戦場にしないためにも基地負担を解消し、新たな基地をつくらせないことが必要です。都高教退職者会は毎年辺野古座り込みツアーを行い、沖縄と連帯してきました。これからもこの取り組みを続け、辺野古に新基地をつくらせない意思を明らかにしていきたいと思っております。

都退教協の皆さまとは、日退教や都退協や「花見の会」で、一緒に活動し、多くのことを学ばせていただきました。これからも都退教協のみなさまとのつながりを大切に、共に歩みたいと願っております。

貴退教のますますのご発展を祈念し、連帯の挨拶といたします。

## 都退教協は、「国葬」に反対する意見を会長名で内閣に提出しました。

### 安倍元首相の「国葬」(国葬儀)に反対します。

内閣総理大臣 岸田文雄様

7月14日、貴職は、安倍晋三元首相の「国葬」実施を表明し、「我が国は暴力に屈せず、民主主義を断固として守り抜くという決意を示していく」と理由を説明しました。

私たちは「国葬」の実施に強く反対いたします。

「国葬」は安倍氏の政治への批判を封じ、むしろ民主主義を損なうおそれがあります。

貴職は、今年の自民党総裁選時、「民主主義の危機であり、国民の(政治への)信頼が壊れているから出馬する」と発言いたしました。首相就任時には、森友・加計学園問題や桜を見る会など、安倍・菅政権のいわゆる

「負の遺産」清算について、再調査や真相解明に否定的な考えを示しつつも、「政治の説明が国民の心に響かないといった状況をもって民主主義の危機」「モリ・カケ・サクラ問題も、行政や会計検査院、検察などさまざまな機関で調査が行われ、報告書が出されている。そういったものを見ていただいた上で、なおかつ足りない部分があれば政治として説明する姿勢をこれからも大事にしていきたい」と述べています。いまは「もう足りない部分」はないとお思いでしょうか。

「国葬」が強行されれば、安倍氏の政策や疑惑について検証する機会まで葬むりさることにならないか危惧します。

安倍元首相は、集団的自衛権を容認する「解釈改憲」、安全保障法制、特定秘密保護法、共謀罪など、国論を二分するような問題で、国会での圧倒的多数を占めていることを

活用し「政治権力」で押し切る方法を貫きました。森友・加計学園問題、「桜を見る会」問題などの「疑惑」への対応でも同様でした。森友学園問題では、「私や妻が関わっていたら総理も議員もやめる」と答弁し、それが、財務省理財局幹部の「決裁文書の改ざん」という行為につながったことは明らかでしょう。加計学園問題も疑惑が解明されていません。「桜を見る会」問題は、安倍元首相及び安倍事務所に直接かかわる点が、それまでの「疑惑」でとどまっている問題とは大きく異なります。安倍元首相は、明らかな虚偽説明、虚偽答弁を繰り返すという国会を冒とくした態度をとり続けました。国会で118回もウソの答弁をしていたことが否定できなくなり、答弁の訂正に追い込まれる事態となりましたが、そこでも、ウソの説明をし、それが、安倍元首相の国会での最後の発言となりました。

また、旧統一教会関係者と安倍元首相との癒着、今回の事件を契機であったことが明らかになっています。

権力を駆使して国会を私物化し、「疑惑とウソ」で「民主主義を冒とく」してきた安倍元首相の「国葬」を「民主主義を守り抜くという決意を示す」ためとするのは、岸田内閣の存亡にかかわる矛盾です。

私たちは故安倍晋三元首相の「国葬」に強く反対いたします。

2022年8月11日

東京都退職教職員協議会  
会長 谷口滋

## 会費・カンパを振り込んでいただき、ありがとうございます。

会費を納入してくださった方々(敬称略) 竹山諭、武田好永、依田倫子、佐久間忠夫、谷口滋、川角恒、城田純生、城田美穂子、藤崎喜仁、藤崎みどり、名谷和子、安藤隆、鎌田勝吉、一ノ瀬渉子、関川俊一、浅川謙司、清野義光、三宅芙美子、

カンパして下さった方々（敬称略）竹山諭、佐久間忠夫、藤崎喜仁、藤崎みどり、  
谷口滋、一ノ瀬渉子、関川俊一、浅川謙司、三宅芙美子 ・ 8月15日現在

## ひとこと

浅川謙司 非常勤生活中。（専門員）

一ノ瀬渉子 遅くなってすみません。いろいろ忘れることが多くなりました。今できることを精一杯やろうと思います。

関川俊一 納入が遅れて申し訳ありません。地域で、あるいはOB組合員として可能なことを実践しています。

# 東京都退職教職員囲碁大会のお知らせ



初心者からベテランまでどなたでも参加できる恒例の囲碁大会を開催します。勝敗にこだわらず、同好の方々と囲碁を楽しみ、都高教退職者会の仲間と交流を深めることもできます。初心者の方でもかまいません、同好の皆さまと囲碁を楽しみませんか。コロナ感染対策のため、昼食はなしです。飲み物は事務局で用意いたします。参加者全員に参加賞を、上位者には、賞品を差し上げます。みなさまの応募をお待ちしております。

1. 日時 9月22日（木）午前10時～
2. 場所 東京都教職員互助会  
ナール御茶ノ水2階 会員集会室  
（東京医科歯科大学と順天堂大学の間の坂を上り、ローソンの先を右に入り2階へ）
3. 資格  
都退教協会員（2021年度会費納入者）  
及びその家族（60歳以上）
4. 階級  
Aクラス-無差別（段級の制限なし）  
Bクラス-2段～5段  
Cクラス-初段以下～初心者

5. 参加費 無料
6. 申し込み  
・ハガキ（〒101-0003 千代田区一ツ橋 2-6-2 日本教育会館 2F 東京教組内 都退教協宛）  
・メール（[totaikyokyo@tokyokyouso.org](mailto:totaikyokyo@tokyokyouso.org)）  
・FAX（03-5276-1312）のいずれかで、名前、連絡先と囲碁大会参加の旨記入して都退教協あてに9月9日までにお申し込みください。  
・中止または延期の場合は、参加申込者にご連絡いたします。

## 編集後記

- ◇ 総会直後の参議院選挙は、自公政権が安定多数。改憲派の政党が2/3以上を占めるなど厳しい結果になりましたが、古賀ちかげさん、福島みずほさん、辻元清美さんが当選してホッとしています。
- ◇ ロシアのウクライナ侵略から6カ月。停戦、和平の見通しも立たず、両国の兵士、民衆が殺され続け、食糧難と物価高を招いています。始まった戦争を終わらせることの難しさを痛感します。日本国憲法は武力の行使と戦力の保持を放棄し、交戦権も認めていない。為政者に戦争を始めさせないことこそ、私たちの責務だと思います。（谷口記）